

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| 理念に基づく運営 | 11 |
| 1. 理念の共有 | 2 |
| 2. 地域との支えあい | 1 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 3 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 3 |
| 5. 人材の育成と支援 | 2 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 2 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 1 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 1 |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 6 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 1 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 2 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 11 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 9 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 2 |
| 合計 | 30 |

| | |
|-------|-----------------------|
| 事業所番号 | 3071000289 |
| 法人名 | 株式会社はるす |
| 事業所名 | グループホームはるすのお家 |
| 訪問調査日 | 平成 20年 6月 5日 |
| 評価確定日 | 平成 20年 6月 25日 |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 認知症サポートわかやま |

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|----------------------------------|-------|------------|
| 事業所番号 | 3071000289 | | |
| 法人名 | 株式会社はるす | | |
| 事業所名 | グループホームはるすのお家 | | |
| 所在地 | 橋本市菖蒲谷979-1 (電話) 0736-39-3028 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 認知症サポートわかやま | | |
| 所在地 | 和歌山市四番丁52ハラダビル2F | | |
| 訪問調査日 | 平成20年 6月 5日 | 評価確定日 | 平成20年6月25日 |

【情報提供票より】(20年4月30日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|--------|--------------------------|
| 開設年月日 | 平成 13 年 7 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 3 ユニット | 利用定員数計 | 27 人 |
| 職員数 | 33 人 | 常勤 | 11人, 非常勤 22人, 常勤換算 12.6人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|--------------|------|
| 建物構造 | 木造スレート葺平屋 造り | |
| | 1階建ての | 1階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|--------------|----------------|----------|---|
| 家賃(平均月額) | 30,000 円 | その他の経費(月額) | 10,000 円 | |
| 敷金 | 有(円) | 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(200,000円) | 有りの場合 償却の有無 | 有 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり | 1,000 円 | | |

(4) 利用者の概要(平成20年6月5日現在)

| | | | | | |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 25 名 | 男性 | 3 名 | 女性 | 22 名 |
| 要介護1 | 4 名 | 要介護2 | 9 名 | | |
| 要介護3 | 5 名 | 要介護4 | 4 名 | | |
| 要介護5 | 3 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 82 歳 | 最低 | 63 歳 | 最高 | 94 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|------------------------|
| 協力医療機関名 | 南クリニック・なかいクリニック・堀切歯科医院 |
|---------|------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

橋本市郊外に位置し、南海高野線御幸辻駅から徒歩約5分と交通の便に恵まれている。緑豊かで静かな環境の下で3ユニットそれぞれ独自のケアが実践されている。ケアマネージャー以下職員のチームワークは抜群に良いと職員一同皆口を揃え、その実際の様子も覗える。職員の提案でセラピー犬を飼っていることで和やかな雰囲気、また、ロボット犬のアイボもおり、入居者への心配りが感じられる。入居者の重度化にも柔軟に対応したいという積極的な意気込と、模索する姿勢がみられる。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回は提案された要改善点について前々回の提案と整合性が取れていないので、職員各位もどのように対応していくか戸惑うところもあるが、外部評価にて提案された要改善点等について職員全体に十分周知されておらず、具体的な検討は行われていない。 |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 改善すべき箇所について自覚は出来ているものの、ハード面の制約や地元自治会等地域との円滑な連携が困難であり、取組状況は進歩していない。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) |
| | 半年に1度開催されている。地元自治会等の理解が得られ難く、運営推進会議ならではの成果はあがっていないが、包括職員・市役所担当者を交えての会議の実績がある。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| | 苦情・事故・相談については詳細な記録を残し職員各位に周知を図っている。また家族の来訪時に相談を受ける、ケアプランの意見収集、その他家族等の意見を吸い上げて対応する取り組みが継続されている。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| 重点項目 | 当該ホームが認知症高齢者の生活支援の拠点である事がまだ地域住民に十分認知されていないところもあり、地元自治会・周辺住民等との関係性は希薄となっている。 |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|--|--|-----|---|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 三つのユニットそれぞれが独自に理念を掲げており、ケア業務の拠りどころとして機能しているが、地域密着サービスとしての理念の明文化がされていない。 | | 地域密着型サービスが果たすべき役割を反映した内容を理念に加えることが望まれる。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 新人研修時及び、日頃のチームでのケアを通じてコミュニケーションを図り、ケアの根底としての理念が共有されている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 当該ホームが認知症高齢者の生活支援の拠点だという事がまだ地域住民に十分認知されていないところがある。行事参加や交流などの取り組みは浅いが、自治会費を継続して支払うなど地域との関係性を重視する姿勢はうかがえる。 | | 地域との関係づくりの第一歩として自治会、それらを束ねる自治会の総元締めへの挨拶とPR、そこから各種団体の長へ順次PRを拡大する事でホームの認知度を高めるなどの取り組みを皮切りに、積極姿勢で地域社会に溶け込むような努力を期待したい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 職員各位は自己評価外部評価の結果について知らされてはいるものの具体的な取り組みはない。 | | 改善すべき課題を認識し、一つひとつ検討を重ね、具体的な改善に結び付けていくことが望ましい。 |
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 半年に一度、地元住民や入居者家族、包括職員を交えて運営推進会議を行っている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|--|-----|---|
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 行政手続等の所用で行き来する機会をつくっている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 便りの発行やケアプランの意見収集・家族来訪時の相談に随時のなどの個々に合わせた報告を行っている。 | | |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 月1度のケア・プラン作成に当たり、家族が意見を書ける「要望書」を出せるようにしている。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 離職時については離職する職員本人が入居者に挨拶にまわる等の配慮がなされている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 日毎に指導する職員を決めて、それを積み重ねて研修としている。またグループホーム連絡会における研修なども申し込みはするものの、返事がないという理由で結果的に参加できていない事がある。 | | 運営者は管理者や職員の意欲をくみとり、研修などの申し込み等、外部との連絡調整により積極姿勢をもって臨むよう期待したい。 |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 実施数は少ないながらも近隣のグループホーム職員との交流はなされている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|--|---|-----|---|
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | できるだけ本人の納得が得られるように話し合い、居室に馴染みの私物を持ち込むなどして、本人の思いに添うように雰囲気作りなど工夫している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 介護業務として一日のスケジュールをこなす事が優先されがちで、ともに支えあう関係が築けておらず、感情を込めた声かけも不足している。 | | 喜怒哀楽に代表される入居者の情緒・情動により一層寄り添い、アットホームな雰囲気作りを心がけてもらいたい。また、職員の和やかな関わりの中に入居者も自然と巻き込み、一緒に生活するという関係も築いて行ってほしい。 |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 月に一度のミーティングを核として一人ひとりの対応について検討を重ねている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 現場職員は口を揃えて「チームワークは良好」と話し、ケアの様子からもそれが見える。 | | |
| 16 | 37 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 月に一度のミーティングにて職員が入居者一人ひとりのケアプラン内容について意見を出し合い、見直しにつなげている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|----|--|---|-----|---|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | ショートステイや夕涼みの会を催したり、入居者家族が宿泊できる体制も整えられている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 医療機関との契約に入居者本位の姿勢がみられないところがある。また往診時に入居者一人ひとりにきめの細かい診察を行うなど適切な医療を十分に供与されているかどうか不透明なところもある。 | | 経営者・現場職員共に医療機関の選択権は入居者に存在する事を自覚し、入居者の立場に立った医療を入居者が受けられるにはどうすべきか、改めて再検討することが必要と思われる。 |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 医療機関との連携が不十分な事により重度化対応や終末期対応の方針が曖昧なままとっている。 | | 重度化対応はこちらのホームにとって緊急の課題であり、関係者全体の方針統一のためには医療機関との連携を含めた上で急速な再検討が望まれる。 |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 声かけや排泄介助など、ケアの一つひとつにプライバシーへの配慮がなされている。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入浴回数を確保しつつ、入居者それぞれの生活パターンを尊重し、入浴など必要に応じて声かけ誘導を行っている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|--|---|-----|--|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食べる時間を画一的にせず、入居者それぞれが思いおもいの時間に食べ始めたり、準備や片付けなども協働できるよう配慮されている。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴回数を確保しつつ、一人ひとりのペースと意向に添って入浴を支援している。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 掃除や洗濯ものたたみ、花の水やりなどそれぞれに合った役割を支援している。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 美容院や日常の買い物、散歩等、本人の希望を聞き、外出の支援を行っている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 安全確保の観点から外の門は常時施錠し、滑りやすい中庭への通路口雨天時は施錠している。それ以外は施錠はしない方針で一貫している。 | | |
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 災害避難訓練は行われておらず、備蓄もない。災害対策についての理解が不十分であり、地域の理解も得られていない。 | | 経営者・現場職員共にホームが活断層上に建っている事を自覚し、起こり得る直下型地震と付随する環境の変化や復旧の手立て、安全確保、ライフライン確保、地域との協働について学習し、まずは3日分の食糧備蓄から災害対策に取り組むことが望まれる。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|--|--|------|----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事摂取量や献立、水分量から排尿量など詳細に記録され、健康管理に役立てられている。 | | |
| 2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間は吹き抜けで開放感があり、畳のスペースもあり、ソファで談笑する入居者もあり、居心地の良い共用空間がある。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居者各位の居室には本人ごとに家具等が持ち込まれ、一人ひとりの個性に溢れ、居心地良く過ごせる場所となっている。 | | |